

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

甲第四十三号

(発行年 / Year)

1910

第六百八十五條 會社ノ債務者ハ其債務ト社員ニ對スル
債權トヲ相殺スルコトヲ得ス

(參照)獨二章六五八二項



甲第四十二號

明治二十八年九月二日附符

第六百八十六條 會社契約ヲ以テ會社ノ存續期間ヲ定メ
サリシトキ又ハ或社員ノ終身間會社ノ存續スヘキコト
ヲ定メタルトキハ各社員ハ何時ニテモ退社ヲ爲スコト
ヲ得但已ムコトヲ得サル事由アル場合ヲ除ク外會社ノ
爲メ特ニ不利ナル時期ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス
會社ノ存續期間ヲ定メタルトキト雖モ各社員ハ已ムコ
トヲ得サル事由アルトキハ其期間滿了前ニ退社ヲ爲ス
コトヲ得

(參照)商一二〇、瑞債務法五七五、モンテテテゴロ四三八四四〇、
獨一章六五七同二章六七一同商一二七

第六百八十七條 前條ニ掲ケタル場合ノ外社員ハ左ノ事

由ニ因リテ退社ス

- 一 死亡
- 二 破産

三 禁治産

四 除名

(参照)取一四七商一二一、佛一八六八澳一二〇七二、二一〇、瑞
債務法五七七伊一七三二、西一七〇四、白草一九三五、獨一草
六五七、同二草六七、一六七、二、同商一二七、一二八

第六百八十八條 前條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項
ハ會社ニ其通知ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ會社及ヒ會
社ト取引シタル第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第六百八十九條 社員ノ除名ハ正當ノ事由アル場合ニ限
リ他ノ社員ノ一致ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得但除名シタ
ル社員ニ其旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其社員及
ヒ之ト取引シタル第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
(参照)商一二七、二項伊商一八六、瑞債務法五七六、獨二草六七
二、同商一二八

第六百九十條 退社員ト他ノ社員トノ間ノ計算ハ退社
ノ當時ニ於ケル會社ノ業務ノ狀況ニ從ヒ之ヲ爲スコト

ヲ要ス

退社員ノ持分ハ其出資ノ種類如何ヲ問ハス金錢ヲ以テ
之ヲ拂戻スコトヲ得

退社ノ當時ニ於テ未タ結了セサル事項ニ付テハ其結了
後ニ計算ヲ爲スコトヲ得

(参照)取一四七、一項商一二三、二四、佛一八六八伊一七三二、
同商一八七一、八、西一七〇四、白草一九三五、獨一草六五八
同二草六七、三、六、七、四、同商一三〇、一、三一

第六百九十一條 會社ハ其目的タル事業ノ成功又ハ其成
功ノ不能ニ因リテ解散ス

(参照)取一四四、商一二六、一二七、一項佛一八六五、一八六七、澳
一二〇、五、伊一七二九、一七三二、同商一八九、一九〇、瑞債務法
五四、五、西一七〇〇、一七〇、一、白草一九三四、獨一草六五、一、同
二草六六、四、同商一二三、一二五

第六百九十二條 已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社
員ハ會社ノ解散ヲ請求スルコトヲ得

(參照)取一四五商一二七一項佛一八六九乃至一八七一、澳一
二一、一、二、伊一七三乃至一七五瑞債務法五四六
五四七五七八モンテチゴロ四三六西一七〇五乃至一七〇
七白章一九三二一九三八獨一章六四八六五〇同二章六六
一六六二同商一二四一二五

第六百九十三條 第六百二十四條ノ規定ハ會社契約ニ之
ヲ準用ス

第六百九十四條 會社カ解散シタルトキハ總社員共同ニ
テ又ハ其多數決ヲ以テ選任シタル者ニ於テ清算ヲ爲ス
コトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リテ清算人タル者數人アルトキハ第六
百七十七條ノ規定ヲ準用ス

(參照)取一五〇商一二九伊商一九七一九九瑞債務法五五〇
五八〇獨商一三三三三六

第六百九十五條 會社契約ヲ以テ社員中ヨリ清算人ヲ選
任シタルトキハ第六百七十九條ノ規定ヲ準用ス

(參照)七七商一三一獨商一三四

第六百九十六條 清算人ノ職務及ヒ權限ニ付テハ第七十
九條ノ規定ヲ準用ス

殘餘財産ハ各社員ノ出資ノ價額ニ應シテ之ヲ分割スル
コトヲ要ス

(參照)取一四九一五一一五三一五四商一三〇一三二二三三
澳一二一五伊商二〇一乃至二〇三瑞債務法五四八五四九
五八二乃至五八四西一七〇八獨一章六五六同二章六六七
乃至六七〇同商一三七一四〇乃至一四三

第六百九十七條 本節ノ規定ハ契約ニ別段ノ定アル場合
ニハ之ヲ適用セス但第六百七十四條第六百八十條第六
百八十一條第六百八十三條第六百八十六條第二項第六
百八十七條第二號第四號及ヒ第六百九十二條ノ規定ハ
此限ニ在ラス

(參照)取一三八佛一一八五伊一七一九瑞債務法五四一二項
西一六九一白章一九一五乃至一九一七獨一章六四三二項
六四九同二章六五六二項六六一三項